

## ULTRAZONE ZMX8210

Professional 8-Channel 3-Bus Mic/Line Zone Mixer with Remote Control and Link Ports

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてあります。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用する際の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本機器は熱帯気候および / または温帯気候下でご使用ください。

**法的放棄**

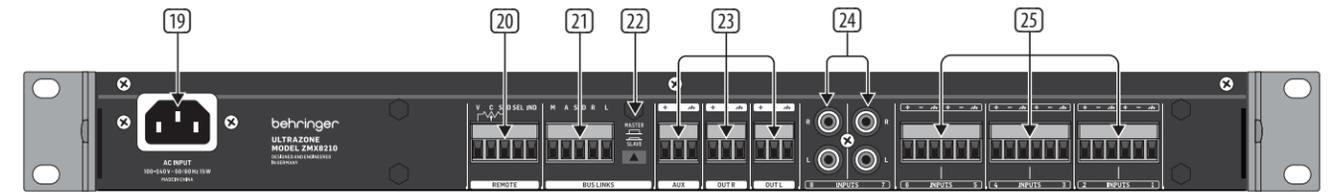
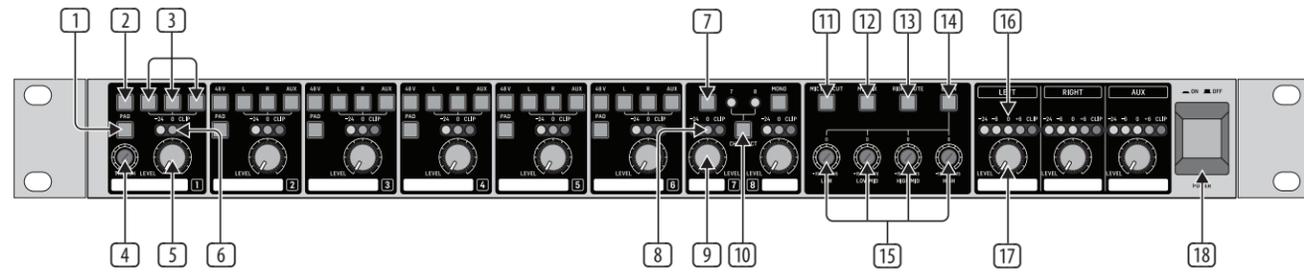
ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、MUSIC Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。MIDAS、KLARK TEKNIK、LAB GRUPPEN、LAKE、TANNOY、TURBOSOUND、TC ELECTRONIC、TC HELICON、BEHRINGER、BUGERA および COOLAUDIO は MUSIC Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© MUSIC Tribe Global Brands Ltd. 2018 無断転用禁止。

**限定保証**

適用される保証条件と MUSIC Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 [musictri.be/warranty](http://musictri.be/warranty) にて詳細をご確認ください。

# ULTRAZONE ZMX8210 コントロール

JP



# ULTRAZONE ZMX8210 コントロール

## ステップ 2: コントロール

チャンネル 1-6 および 7-8 における各コントロールの機能はすべて同一となっています。LEFT, RIGHT, AUX バスの機能もそれぞれ同一です。例として、チャンネル 1、チャンネル 7 および LEFT バスの機能をそれぞれ説明していきます。

スイッチの機能は、特に表記がない限りは、

- 押した状態が「オン」の状態となります。
- スイッチが押されていない時は、「オフ」となります。

### チャンネル 1 - 6

- PAD:** このスイッチで、音量の大きな音声信号の入力レベルを 20 dB カットすることができます。
- +48 V:** このスイッチで、コンデンサーマイク用のファンタム電源をオンにします。
- L, R, AUX:** これら 3 つのスイッチを使って、チャンネル信号を一つ、もしくは複数の出力バスに分配 (ルート) します。
- THRESH (チャンネル 1 のみ):** このコントローラーでスレシヨルドレベルを調節します。入力信号のレベルが、設定した値に達すると、チャンネルはミュートされます。コントローラーを左に廻しきるとチャンネルに影響はありませんが、右に廻しきると、チャンネルは常にミュートされた常態となります。
- LEVEL:** このコントローラーで、選択したバスへルートしたい入力信号のプリアンプレベルを設定することができます。
- LED:** これらの LED に入力信号のレベルが表示されます。CLIPLED が点灯する場合は、LEVEL コントローラー ⑤ を使って、信号がクリップしなくなるまで入力信号レベルを下げてください。それでもレベルカットが十分行えない場合は、PAD スイッチ ① を押してさらにレベルを下げてください。

### チャンネル 7 - 8

- MONO:** このスイッチで、ステレオチャンネルの構成を選択します。
  - モノモードの場合は (スイッチを押した状態)、チャンネルの L/R 入力端子がミックスされ、信号は LEFT, RIGHT および AUX バスに送られます。これによってモノラル信号は同時にすべての出力バスにルートされることとなります。
  - ステレオモード (スイッチを押さない状態) の場合は、L 入力の信号は LEFT バスへ、R 入力の信号は RIGHT バスへとそれぞれ流され、ミックスされた L/R 信号が AUX バスへと送り込まれます。
- LED:** コントローラー ⑥ と同様の機能です。ステレオモードの場合、LED には入力信号 L および R のサム信号レベルが表示されます。
- LEVEL:** コントローラー ⑤ と同様の機能です。このコントローラーは、ステレオモードで L/R 信号の音量を調節する際に使用します。
- CH SELECT:** このスイッチでチャンネル 7 またはチャンネル 8 をそれぞれ切り替えます。使用しているチャンネルの LED が点灯します。

### 中心部

- MIC LOW CUT:** このスイッチで、チャンネル 1-6 に流れる 100 Hz 以下の低周波ノイズをカットします。
- MIC MIX:** このスイッチを押すと、チャンネル 1-6 の信号はリモート操作できなくなります。これによって LEFT/RIGHT バスのチャンネル 7/8 に流れる出力信号の音量レベルのみをリモート操作することができるようになります。スイッチが押されていない場合は、LEFT/RIGHT バスに送り込まれる全チャンネルの音量をリモート調節できます。

- RIGHT MUTE:** このスイッチを押すと、RIGHT バスではミュート機能が無効となります。これは、RIGHT および LEFT バスで、それぞれ異なるゾーン (ルーム) の信号を操りたい場合に便利です。
  - スイッチを押した場合、チャンネル 1 の入力信号が設定したスレシヨルド値 (THRESH ④) を下回ると、チャンネル 1-8 の信号は、チャンネル 1 の信号レベルに応じて、LEFT および RIGHT バスでそれぞれミュートされます。
  - スイッチを押さない場合、LEFT バスのみがミュートされ、各チャンネルにそれぞれルーティングが施されている限り、RIGHT バスには信号が送り込まれます。
- EQ ON:** このスイッチを押すと、LEFT および RIGHT バス用のイコライザー ⑮ が起動します。
- LOW/LOW MID/HIGH MID/HIGH:** このコントローラーで、以下に示す特定の周波数帯域のカット/ブーストをそれぞれ設定することができます。
  - **LOW:** 70 Hz 以下の周波数帯域を最大 +/- 15 dB までカット/ブーストします。
  - **LOW MID:** 300 Hz 前後の周波数帯域を最大 +/- 15 dB までカット/ブーストします。
  - **HIGH MID:** 3 kHz 前後の周波数帯域を最大 +/- 15 dB までカット/ブーストします。
  - **HIGH:** 10 kHz 以上の周波数帯域を最大 +/- 15 dB までカット/ブーストします。

### バス

- LED:** これらの LED に出力信号のレベルが表示されます。CLIPLED が点灯する場合は、LEVEL コントローラー ⑮ を使って、信号がクリップしなくなるまで出力信号レベルを下げてください。
- LEVEL:** このコントローラーで、OUT L, OUT R および AUX のそれぞれのバス出力端子へルートしたい信号の出力レベルを設定することができます。

### 電源

- POWER:** この POWER スイッチでミキサーに電源を投入します。本機を電源コンセントに接続する際には、必ず POWER スイッチを「オフ」にしておいてください。

### リアパネル

BUS LINKS ターミナルブロックおよびチャンネル入力 7 と 8 は、それぞれアンバランス型となっています。その他すべての PCB 入出力端子は、すべてバランス型となっています。バランス型のターミナルをアンバランスで使用する際は、該当する接続端子のグラウンドターミナル(m) をネガティブターミナル (-) でブリッジしてください。

- ヒューズホルダー/標準型 IEC コネクター:** 電源への接続には標準型 IEC コネクター付きケーブルを使用します。これはすべての安全基準を満たしています。専用ケーブルは本体装置に付属しています。ヒューズ交換の際には必ず同じタイプのものを使用して下さい。
- REMOTE:** このターミナルに ZMX8210 のリモート操作に必要な接続を行います。
  - LEFT/RIGHT バスの音量をリモート調節するためには、ポットを一つ接続する必要があります (第 3.1.3 参照)。
  - チャンネル 7/8 の CH SELECT スイッチ ⑩ をリモート操作する場合は、ボタン一つとコントロールダイヤード二つを接続します (第 3.1.3 参照)。
- BUS LINKS:** このターミナルブロックを介して 2 台の ZMX8210 を相互接続することができます。こうすることで、より多くの入力端子 (および信号) を使用することが可能となります。3 つの出力バス LEFT/RIGHT/AUX は、ターミナルブロックを介して相互接続されます。マスターとして構成された ZMX8210 のミュート信号も同様にルートされます。これによって、マスター側のミュート機能は、スレーブ側のバスでも同様に有効となります。
- SLAVE/MASTER:** このスイッチで、ZMX8210 をマスターまたはスレーブのどちらで構成するかを決定します。

### ボタンを

- 押した場合、ZMX8210 はスレーブとして機能します。
- 押さない場合、ZMX8210 はマスターとして機能します。
- ⑮ **AUX/OUT R/OUT L:** AUX, RIGHT および LEFT のバランス型出力端子。
- ⑯ **INPUTS 7-8:** チャンネル 7-8 のアンバランス型入力端子。接続には RCA ピンジャックを使用します。
- ⑰ **INPUTS 1-6:** チャンネル 1-6 のバランス型入力端子。

## JP 技術仕様

Inputs 1 – 6	
Type	Euroblock connector, balanced
Impedance	5 k $\Omega$ balanced, 2.5 k $\Omega$ unbalanced
Maximum input level	+12 dBu (with Pad)
Maximum gain	40 dB
Pad	-20 dB
Crosstalk	-63 dB @ 1 kHz
Common-mode rejection ratio (CMRR)	> 70 dB @ 1 kHz, 22 Hz – 22 kHz
Equivalent input noise (EIN)	-116 dBu, A-weighted; terminated with 150 $\Omega$
Inputs 7 – 8	
Type	RCA connector, unbalanced
Impedance	20 k $\Omega$ , unbalanced
Maximum input level	+10 dBu
Maximum gain	13 dB
Out L / Out R / Aux	
Type	Euroblock connector, balanced
Impedance	120 $\Omega$ balanced, 60 $\Omega$ unbalanced
Max. gain	18 dB
Max. gain (input / output)	58 dB (without Pad)
Maximum output level	+21 dBu
Crosstalk (output / output)	-63 dB @ 1 kHz
Noise (All level controls down)	-105 dBu, A-weighted
Signal-to-noise ratio	87 dB @ 0 dB, A-weighted
Bus Links	
Type	Euroblock connector, unbalanced
Impedance	2.7 k $\Omega$
Maximum output level	+14 dBu
Remote	
Type	Euroblock connector
Volume control	"30 dB attenuation with 10 k $\Omega$ potentiometer (not included) 60 dB attenuation with 100 k $\Omega$ potentiometer (not included)"
Channel select 7 / 8	Push-button switch required (not included)

Equalizer Section	
Mic low cut	100 Hz, 18 dB/oct. high-pass filter, Butterworth
Low	$\pm 15$ dB @ 70 Hz, shelving
Low mid	$\pm 15$ dB @ 300 Hz
High mid	$\pm 15$ dB @ 3 kHz
High	$\pm 15$ dB @ 10 kHz, shelving
System Specifications	
Frequency response	20 Hz to 22 kHz, $\pm 0.5$ dB
Distortion (THD+N)	< 0.05 %
Power supply, Voltage, Current Consumption	
Switch mode power supply	Autorange, 100-240 V~ 50/60 Hz
Power consumption	15 W
Main connection	Standard IEC receptacle
Dimensions / Weight	
Dimensions (H x W x D)	44 x 483 x 153 mm (1.7 x 19.0 x 6.0")
Weight	1.7 kg (3.7 lbs)

## その他の重要な情報

## JP その他の重要な情報

## 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:

ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: MUSIC Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、behringer.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You